

# 平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(3年目)案件:2007年11月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p><b>小樽商工会議所（OTARU—ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞ ・香港展示会事前打合せ・現地調査を実施 11月11日～14日まで、本年度の海外展示会場である香港展示会の事前打合せならびに協力依頼、現地調査を行った。展示会場となる香港そごうでは、会場の下見、展示什器の検討、集客に向けた宣伝・誘導方法について打合せを行ってきた。 また、在香港日本国総領事館、JETRO香港、香港日本人倶楽部、香港日本人商工会議所、日系の新聞・雑誌社を訪問し、後援や周知への協力要請をとあわせて香港での経済状況・香港の人たちの価値観等について教示を受けた。</p> <p>＜担当者のコメント＞ 香港では、実際に会場を下見でき、担当の方と具体的に直接打合せできたことは、これから準備を進めていくにあたって非常に有益であった。また、総領事館はじめ訪問させていただいた所々では、後援や協力の名義使用や雑誌・新聞での周知スペースの提供、さらに他の協力要請先をご紹介して下さるなど、皆さんとても親身になって私たちの展示会の話聞いてくれた。帰国後、紹介いただいた香港日本文化協会(Japan Society)からも周知等について協力をいただけることとなった。こうした香港の関係各位のご協力を頂きながら、小樽のガラス工芸品を香港で広められるよう展示会の準備を進めていきたいと考えている。</p>
2.	<p><b>旭川商工会議所（旭川家具ブランド確立推進事業）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 11月の実施状況は、10月に開催したドイツケルンメッセ出展作品選考会で指摘のあった商品について改良を加え広報用の写真撮影を行った。 12月にはドイツに向けて商品の発送を行う。</p> <p>＜担当者のコメント＞ JAPANブランド育成事業の最終年度にあたり、自立化に向け各メーカーが、リビングルームとダイニングをテーマに統一したデザインで製作しシリーズ化を目指している。カーライス氏より高い評価が得られたことで、各メーカーの自信に繋がったと感じる。</p>
3.	<p><b>弘前商工会議所（世界へ発進！津軽『うるおい、うるわし』事業プロジェクト）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>＜担当者のコメント＞</p>
4.	<p><b>東通村商工会（飛来する未来へ!!『ひがしどおり海山喰(か)さまい創出プロジェクト』）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>＜担当者のコメント＞</p>
5.	<p><b>山形商工会議所（山形発「カロツェリア型ものづくり」のブランド展開）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 東京デザイナーズウィーク期間、JAPAN ブランドエキシビジョン及び東京ミッドタウン JAPAN VALUE 展に山形工房製品の展示を行った。 また、フランスパリ インテリア国際見本市メゾン・エ・オブジェ出展のため、主催者との打合せを行い、ブース位置が決定し、3度目のインテリアシーンコーナーへの出展が決定した。 新製品開発については、引き続き試作をしており、一部完成製品写真撮影を行った。</p>
6.	<p><b>会津若松商工会議所（BITOWA FROM AIZU）</b></p>

<今月の事業実施状況>

- ・JAPAN ブランドエキシビジョンinTDW(出展・展示のみ)  
10/31～11/4 明治神宮外苑
- ・JAPAN ブランド運営委員会 11/6 会津若松商工会議所
- ・「2007 東京国際見本市」JAPAN ブランド出展 東京ビックサイト  
11/21～11/22(商談日) 11/23～11/24(一般公開日)
- ・JAPAN ブランド運営委員会 11/27 会津若松商工会議所



7. 川口商工会議所 (「Casting Innovation 新・川口鑄物の創造」)

<今月の事業実施状況>

- JAPAN ブランドプロジェクト委員会  
日 時 11月13日(火)午前11時～午後12時15分  
会 場 川口商工会議所 会議室  
参加者 16人  
議 題 ・試作品の進捗状況の確認  
・パイロット販売について販売戦略の検討  
・量産化へ向けた事業計画の検討  
・各展示会へ向けた計画の検討
- JAPAN ブランドプロジェクト小委員会  
第8回  
日 時 11月12日(月)午後3時～午後5時  
会 場 川口商工会議所会議室  
参加者 9人  
議 題 ・メゾンエオブジェ 2008 展示会へ向けた計画の検討
- 第9回  
日 時 11月26日(月)午後2時～午後4時30分  
会 場 川口商工会議所会議室  
参加者 9人  
議 題 ・メゾンエオブジェ 2008 展示会への取り組みについて
- 諸会合・取材・展示会  
JAPANブランドエキシビジョン in TDW  
期 間 10月31日(水)～11月4日(日)  
会 場 明治神宮外苑 中央会場  
内 容 オーバル・パンの展示

事業打合せ

- 11月8日(木)午後2時～午後5時 於 川口商工会議所会議室 6人 海外展示会出展について
- 11月15日(木)午前10時30分～午前11時30分 6人 パイロット販売について
- 11月15日(木)午後2時～午後4時 於 川口商工会議所会議室 4人 海外展示会出展について

<担当者のコメント>

パイロット販売・メゾン・エ・オブジェ展示会へ向けた取り組みを行なった。

8. 三条商工会議所 (SANJO発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

- 1. JAPAN ブランド事業特別委員会開催  
日時 11月9日(金) 午前11時～ 12名参加



内容 (1)展示会出展報告

- ・10月3日～6日「JAPAN ブランド at 三条・燕・加茂」
- ・10月31日～4日「JAPAN BRAND エキジビション」

(2)アンビエンテ・メッセ・フランクフルト出展について

- ・展示品及びブース装飾について協議  
このまでの黒を基調としたイメージを継続。小間が小さいためできる限りオープン的な展示となるよう展示レイアウトを再検討。
- ・カタログ作成について新規参加企業もあり新規にカタログを作成することを確認。

(3)外部から依頼のネット販売対応について検討

2.日経 MJ 取材

11月21日 特集記事取材のため日野浦刃物工場の作業現場及び取り組み状況についての取材対応。

3. TOKYO Designer's Week JAPAN BRAND エキジビション出展

事務局のほか参加企業によるアテンド対応。これまで開催のエキジビションよりも反応がよく、一般ユーザーからの貴重な意見の収集ができた。

4.その他

松丸コーディネーターと企業訪問を実施。新規参加企業の開発品の進捗状況を確認。

9. 燕商工会議所（“enn”ブランド育成支援事業）

<今月の事業実施状況>

10月31日～11月4日 Tokyo Designer's Week の JAPAN BRAND EXHIBITION に出展。

11月21日～24日 国際家具見本市に出展。Sozo\_comm の第二次審査を通過。2月に行われるドイツ・アンビエンテのジャパン・パビリオンに出品が決定。

11月21日第6回「enn」ブランド育成委員会を開催。予算の修正、企業負担金の確認、新商品の進捗状況を確認した。

<今後のスケジュール>

ニイガタ(IDS)デザインコンペに平成19年度試作品2点を出品(1月24日審査)。

ニューヨークギフトフェア(2/2～5)。

東京ビックサイト・インターナショナルギフトショー・JAPAN BRAND・EXHIBITION(2/5～8)。

フランクフルト・アンビエンテ(2/8～12)。

10. 加茂商工会議所（桐を中心とした加茂木工ブランドの海外市場販路確立プロジェクト）

<今月の事業実施状況>

【検討内容】

・11/12 価格改定打合せ

・11/13

- ① 東京国際家具見本市出展について(スケジュール及び担当の確認)
- ② 価格の見直しについて(値ごろ感を出すため、価格の見直しを行った)
- ③ 国内取扱店の選定について

・11月21日～24日 東京国際家具見本市出展。  
※ sozo\_comm 2次審査通過によりフランクフルト・メッセ・アンビエンテに出品決定。  
・新カタログを作成(全製品を掲載、見本市にて配布)

【今後の予定】

H20年2月8日～12日 フランクフルト・メッセ・アンビエンテ「COOL J」及び「sozo\_comm」に出展。



<担当者のコメント>

	東京国際家具見本市では、昨年以上の手ごたえを感じた。今後は国内の取扱店について検討し、販路の拡充に勤めたい。海外見本市の出展準備も始まり、あわただしい中、最終年度として、本事業のとりまとめを行っていききたい。
11.	<b>岡谷商工会議所（岡谷絹く 絹(あしぎぬ) &gt;製品のブランド化事業)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>12月の国内展示会、ジャパングリエーション出展に向けて諸絶絹(もろあしぎぬ)のネクタイ、女性用マフラー、ストールを各数十点程順調に織り上げた。</p> <p>また、岡谷絹工房の組合化に向けて長野県中小企業団体中央会と、申請方法等について逐次連絡をとりあいながら設立準備をすすめている。</p>
12.	<b>飯田市鼎商工会(「飯田水引」アートのブランド確立)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>○11月4日まで 東京デザイナーズウィーク出展参加 3日、4日にメンバー2人出席し観客の対応。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>○11月13日 メナード美術館担当者が来訪し、1月水引展示協議 ○11月16日 メナード美術館現地確認し水引展示方法について協議</p>
13.	<b>富士吉田商工会議所（海外展開ブランド支援事業『プロジェクトfuji faconne(フジファソネ)』)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>次回海外展への出展へ向けての素材・製品製作を実施。</p> <p>秋の TISSU PREMIER 展において非常に定評のあった後加工製品に改良を加えたテキスタイルが製作され、次回においても期待が持たれる。</p> <p>取引状況については、見本反を出したメーカーなどからの発注を受けており、いくつか取引が成立している。</p> <p>また、これと平行して 12月上旬に東京ビッグサイトで開催される「JFW ジャパングリエーション」への出展を決め、これに向けて製品をセレクトするなど、準備を進めた。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>これまで海外展開を主に事業を展開してきたが、ここで国内の反応も見るべく「JFW ジャパングリエーション」への出展を決めた。</p> <p>同展へは、アパレルメーカーから出展を要請された本プロジェクトの参画事業者が『バイヤーズセレクト』という特別なコーナーに出展することになり、今回このブースにおいて Fuji Façoné のテキスタイルを展示し国内メーカーへの反応を探ることとした。</p> <p>これまでの海外での反応と比較し、国内での評価を見定め、その結果次第で今後国内への展開を検討していきたい。</p>
14.	<b>福田町商工会 (FUKUDEコード・ルネッサンスMISSION—コーデュロイ(solbrevaco)事業本格始動—)</b>
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
15.	<b>一宮商工会議所（JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>11/26・27・30の3日間、欧州有名ブランドに提案するための2009SS(春夏)素材開発打ち合わせをするため、11社の企業訪問をしてもらいました。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>2月のフランス・イタリアでの生地提案に向けての、素材づくりのスタートです。</p>
16.	<b>有松商工会（創造と進化～有松鳴海絞りブランド)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>10月31日～11月4日 JAPANブランドエキジビション in Tokyo Designer's Week 2007 出展</p>

	<p>(作務衣・タイパンツ・地下足袋) 出展 11月16日～20日開催の「ドームやきものワールド」(ナゴヤドーム)にて、瀬戸商工会議所の展示(テーブルコーディネート)に協力した</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt; JAPANブランドエキジビション in Tokyo Designer's Week 2007 では大変多くの来場者があり、有松鳴海絞をPRすることが出来、大変有意義な事業だった。</p>
17.	<p><b>高山商工会議所 (『飛騨春慶のある生活提案』によるブランド育成事業)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; ①会場確保 11月6日にフランス見本市協会を通じて“メゾン・エ・オブジェ”の会場提案書が届いた。場所は、ホール1 “ETHNIC CHIC MIC”9m×9m 81㎡で、即協議の結果、決定の連絡をとった。 ②カタログ用商品撮影 11月26日～29日の4日間で、カタログ制作のための写真撮影を実施し結果として予定通り終了した。 合計撮影カット数 81カット ③パリに向けて出荷 12月5日(水)パリに向けて11t満載で出荷を果たした。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt; ①会場確保 “ETHNIC”は、メゾン・エ・オブジェ1号館の玄関入口に入ってすぐ左側であり、前回までのプラネット・ムーブルの5倍の入場者があり、しかも希望面積72㎡に対して81㎡を確保できたことは、フランス本国の主催者として、Re-Mix Japan に対する十分な配慮があったことが窺える。81㎡の新規プランを3日間で作成した。 ②カタログ用商品撮影 撮影をするためには開発商品が間に合わなければならず、その間の各メンバー間との頻繁なやりとりは目覚ましいものがあった。結果として、各商品開発において基準値以上、想定以上のものが数多く完成したことは、今までに無く大きな成果であった。 ③今後の課題 A. 価格設定 : 過去2回の経験から反省を踏まえて価格決定をすること。 一つの商品を完成するのに2~3業種から成り立ってできたものについての価格設定の調整 B. アンケート用紙の修正 : 従来の質問内容の簡素化(来場者数の増加に対する対応) C. 接客マニュアルの修正と徹底 : コントラクトビジネスを優先した対象顧客へのマニュアル作成 D. 商品知識の共有 : 現地出張者全員が自分の商品以外全体の商品知識をもつべく、事前に勉強会の開催実施</p>
18.	<p><b>紀北町商工会(JAPANブランド ザ・たべきり)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>
19.	<p><b>輪島商工会議所 (『出会い』創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; ・NY 常設展示場での企画展の開催準備として商品の金具付け・パッケージの選定・案内発送を行った。</p>
20.	<p><b>能登町商工会(『能登の醸し』ブランド発信事業)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; 東日本料理学校協会秋期研修会に参加し、「いしり」についての講演を行った。190校あまりから約</p>

300人の参加があり活気に満ち溢れていた。本研修は全国料理学校協会の教員資格認定研修会でもあり、参加者は皆、真剣そのものであった。

20分の講演時間をいただき、これまでの商工会の取り組みや、「いしり」の成分や機能性について、特に醤油との比較や他の魚醤油(外国産)との比較による「いしり」の優位性について講演した。

また、研修プログラム内の料理実演において日本食・イタリア料理・フランス料理・中華料理の実演に際し「いしり」の使用をお願いし、使い方のレクチャーやメニューの提案をいただいた。

本研修がきっかけで都内飲食店において期間限定メニューとして提供していただいている。

<担当者のコメント>

講演を通し「いしり」を知っていただくことにより、能登の食文化に触れていただき、興味を持ってもらうことが出来たと思われる。また、知識や技術を習得していただき、食文化を継承、創造する力が育まれ、料理学校の先生を通し未来のシェフに対し効果的な普及活動ができたと思われる。

21. 山中商工会(YAMANAKAブランドの確立)

<今月の事業実施状況>

- 11月2日 NUSSHA メンバー会議(3人出席) 英語版カタログの制作について
- 11月5日 NUSSHA メンバー会議(7人出席) 次年度以降の商品開発計画について
- 11月5日~6日 トミタデザインによる各社毎の商品開発個別打ち合わせを実施

22. 鯖江商工会議所(めがねのメッカ福井県鯖江市[THE291(フクイ)]のブランド展開)

<今月の事業実施状況>

- ・11/6~8 香港展に出展。香港で大手のチェーン店との商談があり、うまく行けばまとまった数の注文がある。
- ・11/21 THE291 ブランド戦略委員会開催。展示会、アンテナショプ調査の報告があった。
- 12月の食とものづくり展、今後のPR方法の検討は、話の論点が販売の仕組みにいてしまい、結論がでぬまま、正副委員長に委ねる形になった。

23. 京都商工会議所(KYOTO PREMIUM)

<今月の事業実施状況>



- ・11月7日 第2回プロジェクト委員会 出展計画、広報・プロモーション計画等について測った。
- ・11月7日 第4回ワーキング委員会 メゾン・エ・オブジェに向けた輸送・運営、広報制作物、国内展示会等について検討した。
- ・11月13日 第1回輸出ビジネスセミナー 元JETRO 海外輸出アドバイザーの山本陽一先生をお迎えし、セミナーを開催した。
- ・11月22日 展示品(船便輸送分)発送

・11月28日 プレスリリース『メゾン・エ・オブジェ 2008にて伝統を活かしたホームデコレーションアイテムを発表』

<担当者のコメント>

- ・「メゾン・エ・オブジェ 2008」では、出展小間数は申請小間数から削減されたものの、昨年度と同じくhall 5B インテリアシーンに出展することが決まった。
- ・海外事業者との取引が増えてくるにつれて、各国の生活用品関連法制度等の知識が必要となってきたが、当分野の専門家が少なく、対応に苦慮している。

24. 京都府商工会連合会(丹後テキスタイル)

	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;          委員会等の開催は行わず。          コーディネーターは渡欧し、会場契約の締結や現地窓口・通訳等の調整作業を行った。          各事業者は、出展品の製作等、出展に向けて各自の準備作業を個別に行った。          事務局は渡航日程の調整、業者の選定等の事務的作業に従事した。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;          先月の方針通り、今月は、事業者は展示会の内容の充実に重点を移し、各自の作業に取り組む期間となった。          会場整備・集客については、全体コーディネーターが担当し、期間中に渡欧。これらの活動を基に、12月初旬に第5回ワーキング委員会を開催することとなった。</p>
25.	<p><b>淡路市商工会（～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランド確立）</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;          ◎試作品開発 ・オリジナルライターの本体及びパッケージのデザインが完成し発注する。          ◎展 示 会 ・展示会に出展し淡路島のお線香の認知度を高めることによって「あわじ島の香司」ブランドを育成し今後の国内外の販路開拓を展開していく。          ・ニューヨークインターナショナルギフトフェアに出展するための商品構成等の準備に入る。          ◎広 報 ・新聞、雑誌等各種マスコミからの取材及び産地視察への受入対応。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;          今月から2月に開催されるニューヨークインターナショナルギフトフェアに出展するための準備に入る。今後、商品構成及び市場調査等の詳細について協議していきたい。</p>
26.	<p><b>松江商工会議所（NEW松江菓子海外市場開拓プロジェクト）</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;          (1) 1日 企画担当者会議 NYでのイベント準備について協議を行った。          (2) 6日 職人交流会 NYでのイベント準備について協議を行った。          (3) 15日 実行委員会 渡米時の販路開拓折衝先の選定ならびに「まつえ暖談食フェスタ」でのPRについて、協議を行った。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;          今月も先月に引き続きNYイベントに向けた準備をすすめるとともに、国内向けPRについても協議を行った。</p>
27.	<p><b>府中商工会議所          (FUTON—STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業))</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;          1. 第6回ワーキンググループ会議          と き 平成19年11月21日(水)午後1時30分～3時          ところ 府中商工会議所          内 容          ○アメリカ市場調査(11月4日～)の報告          ・アメリカのインテリアデザイナー、小売店を訪問し、打合せを行う。          ・その調査状況の報告をする。          ○来年度の海外展開にかかる活動内容について協議する          ・米国家具市場の市場調査の実施          ・ニューヨーク「国際コンテンポラリー家具見本市」への出展検討          ・その他の販路開拓活動の検討          ○その他          ・10/31 マーケティングセミナーや11/13 輸出促進セミナーの報告</p>

- ・会場レイアウトについて
- ・パンフレットの作成について
- ・ラスベガス展示会の行程について

## 2. 勉強会の開催

とき 平成 19 年 11 月 21 日(水)午後 3 時～4 時

ところ 府中商工会議所

講師 中小企業基盤整備機構 プロジェクトマネージャー 渡貫 久 氏

テーマ 「中小企業地域資源活用プログラム」の活用について

## 3. ジェトロ主催「輸出促進セミナー」の参加

とき 平成 19 年 11 月 13 日(火)午後 1 時～3 時

ところ ジェトロ本部(東京都)

講師 MIRA Design Corp 社長 三浦 治義 氏

テーマ 「米国市場開拓のためのマーケティング」

※午後 3 時 40 分～4 時 40 分 個別相談を行う

## 4. アメリカ市場調査

とき 平成 19 年 11 月 4 日～11 月 12 日、11 月 14 日～16 日

場所 サンフランシスコ、ロサンゼルス、ニューヨーク、アトランタ

内容

- 府中家具販売促進及びアメリカ家具動向の市場調査

- ・サンフランシスコ 5 件、ロサンゼルス 11 件、ニューヨーク 9 件

- インテリアデザイナーやデベロッパーへニーズ調査を行い、商業ビル、ホテル、マンションへの家具の導入を依頼。

※12 月にも市場調査を実施。

### <担当者のコメント>

○海外展開をする場合、市場調査の重要性を指導された。

調査会社への依頼を検討しながら、今回は各メーカーが直接ニーズ調査で訪米する。

訪米により、ターゲット、価格、デザインについて売れる商品づくりのヒントをつかむことができた。

## 28. 熊野町商工会 (「FU-DE」世界的ブームの創出・FU-DE で日本の四季の綾を世界に！)

### <今月の事業実施状況>

### <担当者のコメント>

## 29. 福岡商工会議所 (21 世紀博多織 JAPAN ブランド)

### <今月の事業実施状況>

11 月 13 日幹事会を開催。年度末の成果発表の形式や法人化の方針の修正などを協議・決定。

6,13,30 日 ワーキング開催。HJ、Shino 両ブランドの進捗状況をチェック。

13 日ワーキングは、オーダードレスメーカーや結婚情報誌「ゼクシィ」、ドレスカタログ制作会社、モデルプロダクションなども入れて、ドレス・広報物制作と記者発表 & 一般公開までの作業やスケジュールなどを決定。

HJは、インテリア・アイテムの新ブランドを「comma」(一間 ターカンマ)に決定、9日にはアルミタペストリーの1stサンプルを完成し、11月中旬モナコ向けに発送。モナコ公室への献上を実現するため、同月17日まずキーパーソンである総領事に献上した。また11月1,2日に福岡産業デザイン展に、「comma-たて型ブラインド」を出展。しっくいによる「comma-博多織セラミックタイル」の首都圏におけるマーケティング調査にも着手し、インテリアコーディネータなどから好感触が寄せられている。(アルミタペストリー、たて型ブラインドについては別添の画像を参照下さい。)

Shino は、博多織のプロジェクトの PR も兼ねて「ミス&ミスター博多織」モデル一般公募の広告を西

日本新聞に出稿。多数の応募者から書類選考による一次審査を経て二次審査として11月30日にモデルオーディションを行った。学生など若者まで含めた関心の高さに手応えを感じた。各メーカーのデザイナーと打ち合せた柄の意匠開発を進め、11月末までにはドレス用生地織りを完成し、メーカーに生地を提供した。12月末までには順次ドレスが完成してくる予定で、12月末にはモデルを使ったスタジオ撮影を行う予定。

### 30. 大川商工会議所（大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業)

＜今月の事業実施状況＞

11月8日 ケルン展示会展示レイアウトの確認。

11月8日 事業所会議の開催

・東京国際家具見本市への対応について協議し、担当者及び対応方法を決定した。

ケルン国際家具見本市への準備について協議し、準備体制及びパンフレット・PR方法についての検討を行った。

11月13日 ケルン展示会への輸送のための作業を行う。16日、博多港でコンテナ積み込み、博多みなと出航。(12月25日 ドイツ、ハンブルグ港へ入港予定。)

11月15日 東京国際家具見本市への搬入。

11月21日～24日 東京国際家具見本市出展 担当者: 貞苺、廣松、宮崎

来場者との商談件数 31件、パンフレット等の送付を行い、今後、営業を行う。



＜担当者のコメント＞

ケルン展示会へ向けた確認・調整業務を行う。

・展示レイアウト、電気工事、輸出業務、運送業務、現地での対応、視察等について。

東京国際家具見本市は、日本国内で実施される家具専門展示会としては、最大規模であるが、全体的に規模が縮小傾向にあり、来場者もこれに沿うように少なくなっていた。

### 31. 鹿児島県商工会連合会（薩摩が誇る美と技のコラボレーション）

＜今月の事業実施状況＞

・平成20年1月25日～29日までフランス、パリで開催されるメゾン&オブジェに出展することが決定し、展示会のプロデューサーにメイド・イン・ジャパン株式会社の総合プロデューサーの瀧勝巳氏をお願いすることにした。

・11月29日に第5回ワーキング会議を開催し、メゾン&オブジェ、に於ける具体的内容について瀧氏から展示イメージの青写真を基に説明をしていただいた。テーマは「Satsuma Chic in JAPAN」～日本の薩摩の粋な商品～として展示会を開催。会場がテーブルウェアのコーナーということで、柄の木のテーブルを中心におき、人が着る、家具が着るということを表現し、フランスのバイヤー等に見せる。また、今回のメゾン&オブジェの展示会においては、代理店契約を結ぶことを目標とすることを確認した。

＜担当者のコメント＞

・今回のメゾン&オブジェについては、メイド・イン・ジャパン株式会社の総合プロデューサーの瀧勝巳氏をお願いしたため、テーマや展示のイメージ図があり参加者にもよく理解していただいた。

# 平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(2年目)案件:2007年11月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p><b>札幌商工会議所(スイーツの街・札幌 ブランド発信事業)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸スイーツ調査の実施</li> </ul> <p>11月28日(水)、29日(木)の2日間、地域としてのスイーツブランドの先進地である、神戸への            実地研究・調査を行った。            当地へは、さっぽろスイーツブランド推進委員会ワーキンググループの委員長と委員1名、事務局            1名にて訪問し、①地域としてのブランド戦略、②個社のブランド戦略、③パッケージング、④店構            え、⑤ホスピタリティ、の5点につき、店舗の見学、現地事業者へのヒアリングを行った。            現地のブランド戦略等には、歴史の深さからくる伝統的な手法が反映しており、さっぽろスイーツに            足りない面を補完するための方向付けに活用していく予定。</p> <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>地域のスイーツブランドとして、西の神戸、北の札幌となるべく展開している本事業において、今回            の調査により得たものは大変大きく感じる。当所JAPANブランド事業推進のために、事務局とし            て、また参画事業者への情報開示を行うことで事業者全体にとっても、さっぽろスイーツ全体のレベ            ルアップに反映させていきたいと考えている。</p>
2.	<p><b>盛岡商工会議所 (南部鉄器フォ・ユーロ・ブランディング事業)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○試作品(18年度に試作した11アイテムのうち、8月に送らなかった3アイテム)とホーロー加工の                代替となる塗料を塗布したサンプルをフィンランドに送り、デザイナーのタウノ タルナ氏と厨房用                品の製造販売会社であるフィンランドメス社のスタッフとで、食器洗浄機等による検証などを受                けている。</li> <li>○タウノ氏から示された新製品共通のシンボルマーク素案について、岩手県工業技術センターで                図案化・原型作成の作業を進めている。</li> <li>○タウノ氏から示された改良点、デザインの修正等に基づき、岩手県工業技術センターで光造                型機による原型作成の準備作業を進めている。</li> <li>○改良点を反映させた本年度試作品について、それぞれの工房で試作の準備を行なってい                る。</li> </ul>
3.	<p><b>泉佐野商工会議所 (泉州こだわりタオルブランドの構築)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>JAPANブランド実行委員会</p> <p>11月2日(13:30)森専門家委員他のご出席のもと、同委員会を開催し、これまでの事業の実施状況            について、試作開発(試作サンプル展示)、PR事業など順次報告説明を行った。            続いて、今後の実施事業スケジュールについて、大阪での展示会を11月、泉佐野地区12月、東京            2月に実施する旨説明された。</p> <p>泉州こだわりタオル推進委員会</p> <p>11月2日(18:00)森専門家委員他のご出席のもと、同委員会を開催し、試作サンプルの求評と、11            月23日・24日の展示設営内容、役割分担、パンフレットの構成内容、泉佐野、東京展示会について            協議を実施した。</p> <p>11月14日東京展については、東京丸の内ビルにて2月6日7日として、丸ビルとの打合せを行            なった。</p>

	<p>JAPANブランド「泉州こだわりタオル展」(会場:大阪心斎橋 クリスタ長堀)  11月23日(祝) 24日(土) 11~19:00 大阪心斎橋クリスタ長堀 滝の広場において開催。会場では、開発商品へのアンケート、web提案、商談、消費者提案を実施、両日で1,000名のアンケートを回収し、約5,000名の来場をいただいた。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;  当面の目標であった、大阪市内での展示会は盛況の内に無事終了することが出来た。今後、森専門家委員の指導により開発商品の修正なども行い2月の東京展に向け事業を推進する。</p>
4.	<p><b>神戸商工会議所 (神戸ブランドMeets上海)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;  11月1日(木)  神戸ブランドMeets上海プロジェクト 参加事業者募集開始。  11月13日(火)  参加者説明:(株)ぜんまい 高田恵太郎、(株)イズム 高柳克史、(株)ビッキー 窪田修二、(株)ワールド 広田浩二、神戸市 寺前由美子、神戸商工会議所 藤田敦大  上記企業が本事業におけるショー出展の意向を示しており、説明会を実施した。  11月16日(金)  参加者説明:(株)ぜんまい 高田恵太郎、(株)ワンダーフォー 東 博元、瀬川菜穂、神戸レザークロス(株) 小松氏・嶋村氏、ゴンチャロフ製菓(株) 末安省二、神戸市 寺前由美子、神戸商工会議所 藤田敦大、上記企業が本事業におけるブース出展の意向を示しており、説明会を実施した。   11月27日(火)  打合せ 参加者:(株)ぜんまい 高田恵太郎、神戸市 寺前由美子、神戸商工会議所 藤田敦大  ◆12月のプレスリリース内容について  「神戸ブランドMeets上海」の開催日程、本事業の内容、ホームページの紹介を記載し、12月10日にリリースする予定。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;  昨年度は参加していなかった神戸の若手ブランドも参加の意思を示しており、本事業を通して「神戸ブランド」のイメージが上海の若い女性に人気がある証明となっている。</p>
5.	<p><b>菟田野商工会 (UTANOブランドの創出~鹿革を活用した地域ブランド構築事業)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;  11月19日午後・第5回化粧・エステサロン部会開催  ○展示会出展報告  ※ビューティーワールドジャパンウエスト 平成19年10月22日(月)~24日(水)  =インテックス大阪5号館= 3日間の来場者数 11,428名  西日本最大規模のビューティー総合見本市で、大阪市での開催は2回目を迎える。  UTABI エステシリーズ(フェイスマスク、ミトン、デコルテ)のPRと鹿革の特性を生かした鹿セーム革に対する専門家の反応をみるための出展で、会場では鹿セーム革を手に乗せて艶の良さを分かってもらう“体感コーナー”“エステサロンの実演体験コーナー”を設けエステティシャン、サロン経営者、化粧品製造・販売業者など来場者の反応をみた。  アンケートを記入頂いた結果、ほとんど70%の人が鹿革に対する認知度は低かったものの、UTABI エステシリーズについては、関心を示した。  ※プロエステティシャン業界の国際大会(CIDESCO)に出展参加!  マレーシアのクアラルンプール「コンベンションセンター」平成19年10月27日(土)~29日(月)  世界中のエステティシャンが一堂に集い、会場ではセミナーや競技会、展示会などが盛大に開催された。  日本から唯一の業者出展という事で、好評を得た。リーディングカンパニーとしての“日本の格付</p>

が認められている感触を受けた。まず“鹿”の皮という事の驚きと素材特性の良さが、来場者の関を引いた。

- ・ある女性はエステティシャンを輩出する学校の教官をしているが、この授業での教材として取り上げたいとの意向を受けた。
- ・とにかく体感し結果をみて、サロンで使えるかどうか決めたい。・そうになると、幾らで販売してもらえるのか、数を纏めれば割安になるのかなどの質問が相次いだ。
- ・アンケート結果から見た総体的な意見・感想は、鹿セーム革の認知度は低かったが、触った感触とか興味反応はすごく良かったと思われる

#### 11月19日午後・第4回服飾雑貨部会開催

※JFW JAPAN CREATION 2008 AUTUMN / WINTER 平成19年12月5日(水)～7日(金)

東京都江東区有明 東京ビッグサイト東館

服飾素材として、“鹿革”の柔軟性、保温性をPRLし体感してもらう目的で出展する。

○広報媒体の作成に伴う掲載内容を検討する。

◆鹿革素材説明サンプル帳の作成・展示会などへ来て頂いた業者への説明資料として活用！

◆アプローチブックの作成・商談時の活用ツールとして、素材特性、製造工程、統計・品質などのデータを掲載！

◆リーフレットの印刷・一般来場者あてに配布するパンフレットで、事業概要、素材紹介などを掲載

○鹿革素材試作品の完成！

①ライダースジャケット

②ノーカラージャケット

③スタジアムジャンパーの3点について、今期のトレンドや縫製に関して考慮した事など、千趣会のデザイン担当をされているデザイナーの作品で、試作品の目的・特徴等を聞く。

④鹿革製“帽子”の試作・計6点

鹿革の素材特性と持ち味を生かした製品づくりに取組んで頂いた。それぞれの特徴と試作する段階で苦労した事などの報告を受ける。

#### 6. 今治商工会議所 (Imabariタオルプロデュース ～「新Towelライフ」の出演～)

<今月の事業実施状況>

○ 人材育成委員会開催

日時 11月13日 場所 テクスポート今治

内容 タオルソムリエ資格試験、タオルマイスター制度について検討

○ ランティエ、REBOOT、ELLEDECO等の雑誌に今治タオルプロジェクトの紹介記事が掲載される。

<担当者のコメント>

佐藤可士和氏の効果により、雑誌等の掲載が増えている。

#### 7. 中芸地区商工会 (「魚梁瀬杉」再生プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

平成19年10月31日～11月4日

JAPAN ブランド エキジビション in Tokyo Designer's Week

平成19年11月20日

「Monacca」ワーキング会の開催

①メゾンの経過報告について

②TDWの経過報告について

③国内戦略について

平成19年11月20日

「新商品開発」参画事業者との打合せ

平成19年11月24日

「世界は今 ～ JETRO Global Eye 」で特集される。


	●インターネット放送 <a href="http://www.jetro.go.jp/tv/internet/">http://www.jetro.go.jp/tv/internet/</a>
	<担当者のコメント> TDW より、プレスからの問い合わせが多数あった。

# 平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(1年目)案件:2007年11月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<b>宮城県商工会連合会(NARUKOブランドプロジェクト)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;            11月26日(月)第3回ワークショップ            ●デザイン案をもとにした試作品について            桂・梅田両氏が作成したデザイン案に基づき工人が作成した試作品(漆塗り部分が未)について出席委員の中で協議を行った。            【以下委員からの意見】            ★ 木地を作り、それから塗りの作業には入ったほうが作業効率が良い。部品と部品のつなが目がぴったりはまるか心配だったが無事に出来た。            ☆ キャンドルスタンド(球形)も上手に出来たと思う。塗りが入った時にどうなるか。            ★ 模様を入れるのは一発勝負。ある程度試作を重ねて熟度を上げたい。            ☆ ボーダーと(こけし的な)柄が混じっているのは面白い。            ★ 絵付けや塗りが入ると作品の出来栄は変わってくるだろう。            木目が美しいので、何とか生かせないか？            桂氏より、また今後新しいデザイン案(アイテム)を提案し試作を進めて行きたいとの意見があった。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;            ある程度形が出来てきたので一安心している。機械に頼らず全て手作業で行っているということなので、そうした点も製品の「強み」になるだろう。また現状は仕掛品(漆塗工程が未了)のため、それが終了すれば製品に荘厳さが増してくるだろう。</p>
2.	<b>梁川町商工会 (JKB ジャパンニットブランドプロジェクト)</b>
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
3.	<b>足利商工会議所 (“足利幕府”プロジェクト)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;            ○11月2日(金)繊維サポート部会を開催。報告事項は次の3項目。①日商主催のセミナー結果(JAPANブランドマーケティングセミナー)②茶の湯の勉強会の資料提供③アルミサポート部会の進捗状況(茶道具の試作品を依頼の他、コシノジュンコ氏企画のランチョンマット、箸置き、行灯の3アイテムを現在試作中。協議事項は次の2項目。①キー合わせについて(バサラとは何であるか/足利幕府とは何であるか・否かをメンバーの考え方を統一。年度末までのスケジュールを決定。②生地素材の進捗状況(あしぎぬ、トリアセテート他5種類の素材を決め納期、生地代等確認。             ○11月2日(金)アルミサポート打合せ会を開催。茶道具の試作について協議。結論としては、茶道具は1000年の歴史があり簡単に新製品の開発は難しく、野点で使用するものならアルミでも可能となった。よって野遊びの道具として「おかもち」を試作することとなる。弁当箱+テーブルや金屏風になったりするお茶道具5セットぐらい。             ○11月6日(火)ロゴマークについての今後の進め方を協議。ロゴマークの使い道、ロゴマークテーマの統一化(足利幕府なのか足利婆沙羅なのか)を検討した結果、製品のシンボルとして足利婆沙羅をメインとしたロゴマークの製作をすることとなる。</p>

	<p>○11月13日(火)コシノジュンコ企画打合せ開催。来年2月6日に開催されるジャパンフェスティバル前夜祭のレセプションパーティーで使用される足利のアルミ製品の打合せ。過去2回の打合せした結果、最終的にランチョンマット、箸置き、行灯の3アイテムを試作することとなる。</p> <p>○11月17日(土)繊維サポート部会を開催。協議事項は次の2項目。①ターゲットの絞り込みについて(足利市の繊維の関係は、何でもできるという多様性があるため一つに絞りずらい欠点があるが、逆手にとり足利なら何でもできるという総合的産地としてのブランド作りをしていくこととした。②生地素材の進捗状況の確認をする。その他、コーディネーターの政所氏が、繊維メンバー事業所へ見学し、各事業所の特徴を確認した。</p>
4.	<p><b>糸魚川商工会議所 (日本唯一・糸魚川ヒスイブランド確立事業)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; 公式事業なし 協力業者により、委員会コンセプトに基づいた試作品のデザイン考案と製造を継続的に行っている。 一月末、協力事業のデザイン画コンテスト表彰式に、業者による新デザイン製品の一部公開を考えている。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt; 協力事業のヒスイジュエリーデザイン画コンテストの応募全国から予想以上に集まり、成果があった。成果を JAPAN ブランド事業につなげていきたい。</p>
5.	<p><b>甲府商工会議所 (ジュエリー産地山梨・産地ブランド「koo-fu」プロジェクト)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; ◆企画に関するディレクション会議の開催 第7回 1.日時 平成19年11月1日(木)午後6時～ 2.場所 甲府商工会議所4階401会議室 第8回 1.日時 平成19年11月27日(火)午後1時～午後1時半 2.場所 甲府商工会議所4階応接室 ◆事業全体を確認するアクション会議の開催 第1回 1.日時 平成19年11月27日(火)午後1時30分～ 2.場所 甲府商工会議所2階201会議室 3.内容 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」の事業について ◆「Koo-fuプロジェクト」に関するコレクション作成 ワークショップの開催 第5回 1.日時 平成19年11月5日(月)午後3時～5時 2.場所 甲府商工会議所4階402会議室 3.内容 アイコンづくりについて 第6回 1.日時 平成19年11月15日(木)午前10時～12時 2.場所 ナオト フカサワ デザイン事務所(東京都渋谷区神宮前5-7-20-4階) 3.内容 コレクションの作成について</p>
6.	<p><b>静岡商工会議所 (静岡家具ブランド推進プロジェクト)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p>

	<p>◆第5回ワーキング委員会(11/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルジオ・カラトローニ氏から照明器具を中心として4つの開発デザイン画の提示とコンセプトの説明があった。引き続き、第4回ワーキング委員会で提示されたデザインに対して試作品の製作会社を決めた。</li> <li>・「2007東京国際家具見本市」出展についての最終確認を行った。</li> </ul> <p>◆2007東京国際家具見本市出展(11/21~24)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県家具工業組合所属事業所 11社(24小間)と当プロジェクト(2小間)が出展。</li> <li>・時間的に試作品の出展が難しくなり、パネル等を活用し、本プロジェクトのプロモーションを重視した展示を実施。プロジェクト名でもある「日本センス」についての意識調査を海外バイヤーや一般来場者に対して実施した。</li> <li>・見本市と連動させ、PR用のWebサイトを立ち上げ、アンケートで答えていただいた「日本センス」の内容をパネルやWebサイトに掲示した。</li> </ul> <p>&lt;今後の予定&gt;</p> <p>◆第2回委員会開催(12/11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイナー紹介</li> <li>・開発デザインのコンセプト等について</li> <li>・2007東京国際家具見本市出展報告</li> </ul> <p>◆第6回ワーキング委員会開催(12/11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発デザインのコンセプトの提示について</li> </ul> <p>◆ヨーロッパ国際見本市の現地調査(平成20年1/23~29)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メゾン・エ・オブジェ(パリ)の見本市を中心に次年度出展のための事前調査を実施する。</li> </ul> <p>◆第3回委員会開催予定(平成20年2月上旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の成果報告</li> <li>・次年度以降の事業の方向性について</li> </ul>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>限られた事業期間のなか、参画事業者、コーディネーターと事務局が密に連携を取りながら、今後の事業のスケジュール管理等をしっかりと行っていきたい。</p>
7.	<p><b>豊橋商工会議所</b>  <b>(『三河つくだ煮』ブランディング事業—MIKAWA TSUKUDANI COLLECTION—)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月2日~3日 委員による海外調査実施  FOOD KOREA 参加、JETRO ソウル事務所等により情報収集</li> <li>● 11月6日 第5回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催 <ol style="list-style-type: none"> <li>①委員による海外調査の報告(韓国、FOOD KOREA ほか)</li> <li>②「三河つくだ煮」ロゴマーク等のデザイン検討</li> <li>③講義「成功するブランドマーケティング戦略の取り組み方2」(日野眞明氏)</li> </ol> </li> <li>● 11月19日 第6回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催 <ol style="list-style-type: none"> <li>①19年度事業の進捗確認</li> <li>②「三河つくだ煮」ロゴマークの基本デザイン決定</li> <li>③「三河つくだ煮」サンプルセットの検討</li> <li>④講義「ブランド作りのケーススタディ」</li> </ol> </li> </ul>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>ロゴマークの基本デザインが決定し、今後、パンフレットや商品のサンプルセットに展開し、展示会等で使用していく予定である。</p>
8.	<p><b>瀬戸商工会議所 (『瀬戸・究極のせとものプロジェクト』ブランド確立推進事業)</b></p>


	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;  11月2日(金) 第6回作業部会  (株)ブランド総合研究所の田中章雄氏を専門家として招聘して、展示会(ドームやきものワールド2007)出展についての検討をした。  11月16日(金)~20日(火)に行われた「ドームやきものワールド2007」に出展した。</p>	
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;  初めての大規模な展示会への出展であったため、不安な部分があったが無事終了することができた。</p>	
9.	<p><b>蒲郡商工会議所 (三河繊維製品のブランド確立プロジェクト)</b></p>	
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;  ・H19.11.5 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) JAPANブランド「企画・デザイン」で抽出し、作成したデザイン画の検討およびデザイン制作の分担とスケジュール。  ・H19.11.23 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) 3グループの柄(波、雲、霞、草花)プリント・ジャガードデザイン画の検討。特殊加工(箔、フロッキー、オパール等)検討。  ・H19.11.30 JAPANブランド育成支援事業第5回事業推進打合せ。  開発素材検討(第5回目)打合せ。専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)ほか10名出席。(於:蒲郡商工会議所101会議室)  波柄・草柄・蒲の穂柄他デザイン画12点について、デザイン内容、色彩・配色等の説明。参加事業所よりの生地・素材サンプルを交えて検討ミーティング。ファブリック設計から試作依頼。試作制作の日程確認。</p>	
10.	<p><b>大野商工会議所・勝山商工会議所 (『醗酵によるまちづくりを目指して』)</b></p>	
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;  11月12日 醗酵まつり打合せ  (1)醗酵食研究会の両部会長と事務局により、(仮称)奥越前醗酵まつり(以下:醗酵まつり)の実施内容について検討を行う。  11月13日 醗酵食研究会合同部会  (1)醗酵まつりの実施概要について説明を行う。  (2)醗酵まつりの際に行う、展示、試食、研究品の紹介方法について説明を行う。  (3)醗酵まつりの際に行う、地域の醗酵をPRするための「おもてなし鍋」について協議がされる。  11月20日 醗酵まつり打合せ  (1)醗酵食研究会の両部会長と事務局により、醗酵まつりについて協議を行う  11月21日 第10回検討委員会の開催  (1)醗酵まつり事業について、正式名称や実施内容について協議がされ、名称は「奥越前醗酵まつり」と決定し、実施内容について検討委員会の承認を得る。  (2)小泉武夫氏講演会の当日の運営計画について協議及び確認を行う。</p>	
11.	<p><b>鯖江商工会議所 (本質的な本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」の展開)</b></p>	
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p>	

	<p><b>試作品</b> 職人ネットワーク構築</p> <p>①11月12日(月)、輪島へ行き、下地師、呂色師訪問。試作品の製造を依頼。 ②11月13日(火)、京都に行き、下地師、呂色師訪問。聞き取り調査のほか、試作品(花器)の製造を依頼。及び写真撮り。 ③11月15日(木)、輪島へ行き、下地師、呂色師訪問。写真撮り。</p> <p><b>展示会</b> 国内展示会 日時:平成19年12月18日(火)~20日(木) 場所:福井県県民ホール</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt; 今月は、12月18日から開催される国内展示会に向けた準備等を重点的に行った。また、職人ネットワーク構築のため、京都へ訪問し、職人の技術を拝見しましたが、漆の性質等を熟知し、丁寧に繊細な仕事ぶりに感銘を受けた。 『REAL JAPAN』としてのブランドを構築するためには、本質的な部分を演出していく必要がある。試作品や展示会会場から本物の技術を持つ職人たちが時間を掛け作り上げたストーリーが醸し出されればと思う。</p>
12.	<b>鳥取商工会連合会 (INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; 20年1月17日(木)から29日(火)までOZONE(東京都新宿区)で開催するINABA(因幡)ブランド「仕切り展示会」に向けて、参画事業者が8アイテムの試作品づくりを進めている。</p>
13.	<b>内子町商工会・五十崎支所 (Ja Gue Na(ジャゲナ)「和紙を使った生活空間の提案」)</b>
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
14.	<b>香美市商工会(土佐打刃物 JAPANブランドプロジェクト)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt; 11月6日 ・竹細工職人の工房を訪問し、道具と何が出来るかを検討 試作担当は宗石刃物製作所</p> <p>11月29日 試作品計画打合せ</p>
15.	<b>大木町商工会 (国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト)</b>
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>

# 平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 戦略策定支援(0年目)案件:2007年11月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p><b>釜石商工会議所（海産物）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 事業者部会を実施し、さきに実施した各種アンケートの概要の報告と今後の事業展開への意見交換を行った。</p> <p>＜担当者のコメント＞ 事業の方向性についてある程度の議論がなされたと思われる。</p>
2.	<p><b>鹿沼商工会議所（切削技術）</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 鹿沼地域の「硬脆材料精密微細切削加工技術」の海外展開可能性を探るため、今まで議論・準備してきたとおり、ドイツの微細加工関連企業訪問や医療機器展示会視察などを実施した。本技術視察には、ドイツ技術開発動向や技術移転に関する専門家(ドイツ人コーディネータ)、産学連携の共同研究者(東京電機大学松村教授)が同行して、詳細なヒアリングや技術の目利きを行った。</p> <p><b>1. ドイツ・ベルリン市内の微細加工関連企業訪問(2007.11.12)</b> 微細加工について、競合技術であるレーザー加工の先端企業2社を訪問、先端レーザー加工技術の現状を視察した。特に、鹿沼ものづくり技術研究会によるエンドミル切削加工のサンプル(マイクロチップ)に対して、ガラスを脆性損傷なく微細に切削できる類似の技術はベルリン近郊には見当たらないとの評価を得て、同研究会の微細切削加工が新しい技術の方向性であると確認できた。</p> <p>① Laser and Medical Technology 社 主業務:レーザー微細加工、顧客仕様に基づくレーザー応用技術開発、技術移転。</p> <p>② Laser Micro Technology 社 主業務:レーザー微細加工機の製造販売、レーザー微細加工の技術開発とサービス。</p> <p><b>2. 医療機器展示会(MEDICA)視察(2007.11.14 -11.16)</b> ドイツ・デュッセルドルフのメッセ会場にて開催された世界最大規模の医療機器見本市に、最新技術動向を視察してきた。2007年度は、医療、分析、福祉、スポーツ等のライフサイエンスに関連した企業約4,100社が出展して、約137,000名の参加者が訪れた。出展企業のうち日本企業は42社であり、一方で中国や韓国、台湾の出展は合計で643社である。医療機器分野にて日本企業の進出は、他のアジア工業国と比較して遅れている可能性が読み取れる。 本事業に関係して、例として次のような技術動向、医療機器・周辺部品、企業の取り組みについて視察してきた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎医学における検査の自動化と新しい検査方法の開発に伴う技術進開発動向</li> <li>・マイクロチップやマイクロ流体機器      ・マイクロチップを活用した検査機器</li> <li>・微細加工を必要とするインプラント部品      ・レーザー微細加工機器</li> <li>・IVAM(欧州を中心としたマイクロ技術を有する企業や研究機関の国際団体) など</li> </ul> </div> <p>特に、現状ではガラスを対象としたマイクロチップに対する取り組みは少なく、出展されていたものの大部分はプラスチックであった。しかし、ガラスを基盤とするマイクロデバイスの需要は、その特性からプラスチックの適用が困難な分野であり、それらの単価は高くなる。そのため、展示会場においても、安価な切削が可能である鹿沼ものづくり技術研究会の切削加工サンプル(マイクロチップ)を紹介したところ、やはり高い関心を集めることができた。欧州諸国では、現在、ガラスの切削加工はエッチングやレーザーで行われているのが大部分であり、鹿沼ものづくり技術研究会のエンドミル</p>



	<p>切削は意外な加工法として捉えられたと推測される。会場では、プラスチックのマイクロ検査基板を製造販売している企業からの積極的な技術交流を望む声もあった。</p>
<b>3. みなかみ町商工会（木工加工）</b>	
	<p>＜今月の事業実施状況＞  11月5日(月)  デザインについての研修会を実施しました。創造学園大学教授でデザイナーの大木紀元先生を招き「売れる商品開発と販促」と題し講習会を実施した。商品開発については、製品と商品の違いについて注意すること、マーケティングの重要性などについて研修した。</p> <p>11月14日(水)  ジャパンホームショー2007を視察調査した。木のほぐし織り製品が建材等に活用できるか？また販路等があるのか視察調査を実施した。</p> <p>11月26日(月)～27日(火)  京都視察を実施した。京都の伝統技術や伝統産業といったモノづくり現場の視察、市場調査を目的に視察してきた。</p> 
	<p>＜担当者のコメント＞  11月は講習や視察調査を中心に事業を展開した。委員各位が目的を持ち各事業に参加していただいた。今までの委員会や勉強会、視察等で出された意見を集約し、来年度以降に繋がるようとりまとめを今後していく予定。</p>
<b>4. 東京商工会議所（豚皮）</b>	
	<p>＜今月の事業実施状況＞  国内流通業調査が終了。  12月に、調査結果に基づき事業者と専門家との意見交換の場を設定することが決まった。</p>
<b>5. 新津商工会議所（花卉）</b>	
	<p>＜今月の事業実施状況＞  生産者向けアンケート調査を実施していたが、回収率が低かったため、調査対象事業者へ電話しアンケートの協力依頼をした。</p>
	<p>＜担当者のコメント＞  生産者の意識の違いを感じた。  生産額が減少しており、厳しい状況だということがわかった。より一層の情報発信・アピールが必要。</p>
<b>6. 静岡商工会議所（お茶）</b>	
	<p>＜今月の事業実施状況＞  ◆ヨーロッパ市場調査(11/12～20)  ハンブルグ(ドイツ)とミラノ(イタリア)を拠点に周辺都市の茶流通業者、茶店、独茶組合、伊茶文化協会会員事業所等を訪問し、ヨーロッパ市場における日本茶への意識や評価、流通事情やビジネスへの可能性や市場開拓を行っていくためのポイント等について調査した。</p>

	<p>◆EU農薬基準に関する調査〔残留農薬分析調査〕(9月中旬～12月)(随時実施)  参画事業者の関連茶生産業者の茶葉を中心に7検体の調査を実施。今後、勉強会に参加された業者等の中で可能性のある茶葉を調査する。</p> <p>&lt;今後の予定&gt;</p> <p>◆静岡市内山間地茶園の現状調査(12月～平成20年1月)  静岡市内の山間地茶園の規模や栽培方法、農薬使用状況等の現状を把握するために調査を実施する。これを当プロジェクトを推進していくために必要な茶園とのネットワークづくりに活かしていく。</p> <p>◆第2回委員会開催(12/4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度事業の経過報告</li> <li>・ヨーロッパ市場調査の報告</li> </ul> <p>◆第3回委員会開催予定(平成20年1月下旬～2月上旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の成果報告</li> <li>・次年度以降のブランド戦略アクションプランについて</li> </ul>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた事業期間のなか、参画事業者、コーディネーター等と事務局が密に連携を取りながら、今後の事業のスケジュール管理等をしっかりと行っていきたい。</li> </ul>
7.	<p><b>東伊豆町商工会（雛のつるし飾り）</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>11月20日 技能五輪会場でのヒアリングアンケート調査  技能五輪会場で、在日外国人に対して「つるし飾り」についてのヒアリングアンケート調査を実施した。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>成 果  概ね評判が良く、購入希望者も多かった。</p> <p>課 題  購入希望金額が米ドルで平均50ドル。国内販売での最低金額で出ているため、輸送コスト等を考えると、付加価値の付けかた等検討しなければいけない。</p>
8.	<p><b>堺商工会議所（自転車・刃物等）</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>堺の伝統産業の世界ブランド化準備委員会の承認に基づき、調査委託業者と協議を行い、調査対象となる5箇所への調査方法、調査票について調整を行い12月から調査を実施することになった。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>海外においては、「JAPAN=TOKYO」という意識が強いことから、冒頭から地方都市の認知度について調査すると、認知度がないとの回答が出された場合、それ以上の調査は困難となる。</p>
9.	<p><b>紀州有田商工会議所（手袋・靴下）</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>11月14日 第4回戦略策定委員会において、外部委託市場調査項目の検討を行う。  調査項目については原案通り承認を得た。但し、回答者の男女別年齢別記入を行う。また、原糸への添加物混入について久保田専門家委員に資料収集に依頼することを決定。11月13日 奈良県靴下工業協同組合等の視察報告を行う。また、10月31日退職した専務理事については委員より専門家委員へ(中小企業診断士)11月1日新たに専務理事に就任した者を事務局より委員に選任す</p>

	ることに決定した。
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;          視察見学した奈良県靴下工業協同組合は組合員が製造した靴下を組合として購入して北京、ハルピン等の百貨店、スーパー13 店舗で販売している。最終目的は上海のデパート、スーパーで販売を行うとのこと。中国の富裕層をターゲットとし高級品で勝負している。正に、逆転の発想である。</p>
10.	<b>東広島商工会議所（日本酒）</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;          ・これまでの調査結果を踏まえて、西条酒ブランドの基本戦略とアクションプラン素案を作成した。          &lt;予定&gt;          ・12月3日 西条酒ブランド育成委員会(第3回)で、内容を協議する。          ・12月3日 西条酒ブランドセミナー開催 JETRO広島共催          テーマ「日本酒・日本料理を巡る米国市場の今」－米国におけるビジネスチャンス－          講師 フードジャーナリスト 片山 晶子 氏</p>
11.	<b>人吉商工会議所（焼酎）</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;  <b>◎11月13日(火) 第4回セミナー</b>          ・講演「ケースから学ぶブランディングの智慧」 神戸大学経営学研究科教授 石井淳蔵氏          ・ディスカッション「球磨焼酎ブランド化戦略について」          進行 (株)酒文化研究所 狩野卓也氏、球磨焼酎酒造組合青年部 高橋部長</p> <p><b>◎11月13日(火) プロジェクト実施委員会・幹事会</b>          ・第4回セミナーについて議論。講演後に行ったディスカッションに関して、参加者の熱意が感じられて非常に          ・第5回セミナーは、1月10日前後に石井教授の講演とディスカッションを行うことに決定した。テーマは「球磨焼酎ブランド戦略策定」とすることとした。          ・市場調査に関し、中間報告とし意義深いものであったという意見があった。その内容を踏まえて、球磨焼酎酒造組合青年部で戦略案の取りまとめを行い、たたき台として次回第5回セミナーで発表することとなった。数値の説明が行われ、現状でも戦略策定の参考となるという意見も出される。調査結果の詳細については、次回のセミナー時に出席者へ説明することとなった。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;          戦略策定の中心となる球磨焼酎の蔵元(28社)の動きも活発となってきており、予定通りに戦略立案が行われるものと思われる。</p>
12.	<b>佐伯商工会議所(寿司)</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;          11月9日～13日          第4回海外調査 対象都市:ドバイ          近年、中近東の貿易と金融のセンターとしての地位を確かなものに、次なるステップとして国際的な観光リゾート都市へ向けた大規模開発を進めているドバイを訪れた。ドバイには日本料理レストランがまだ約20軒程度しかなく、寿司専門店に至ってはホテル内に1軒あるのみであった。寿司の美味しい店ということで、現地駐在の日本人に聞いた代表的な寿司専門店や日本食材専門店を視察した。鮮度の高い食材の調達が比較的容易であるためか、寿司のレベルは想像したよりもずっと高いものであることに驚かされた。またJETROドバイ、日本総領事館を訪問し、ドバイで外資企業が事業を行う際の事業環境や注意すべき点についてヒアリングした。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;          今後は、引き続き海外調査として、1月上旬にバンコク(タイ)等を予定している。</p>
13.	<b>宮崎商工会議所（地鶏加工食品）</b>

	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>11月19日(月)に「第3回宮崎地鶏ブランド戦略策定ワーキンググループ会議」を宮崎商工会館にて開催し、ブランドの方向性と今後の事業内容について意見交換した。また、勉強会として、南九州大学の陳蘭庄准教授を招聘して中国の鶏市場動向と消費状況についてご教示頂いた。</p> <p>12月に消費者調査と市情調査を実施する。</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>今後、消費者調査と市場調査を実施し、その調査結果をブランド戦略の策定に反映させたいと考えている。</p>
14.	<b>宮古島商工会議所（繊維製品）</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>
15.	<b>北谷町商工会（琉球ガザミ蟹）</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>①11月6日(火)第6回JAPANブランド開発プロジェクト委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ブランドフォーラム&amp;パネルディスカッション運営について検討 テーマ「食と都市型観光のブランド戦略」～北谷はガザミで地域づくり～</li> <li>○地域資源紹介DVDの視聴 映像を8分30秒・・・解説の原稿確認(地域資源紹介内容コメント)</li> <li>○各パネラーの主張内容の確認と方向性(強調すべきコメントなど)</li> </ul> <p>②戦略策定(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○次年度事業計画についての可能性を委員長より説明する ☆地位資源プログラム(研究開発費)を活用して養殖の研究開発をする⇒脱皮の技術を確立⇒平成21年度にJAPANブランド確立事業申請 ○ガザミ養殖施設設置計画について・・・12月より準備に取り組む。</li> <li>☆11月21日(水)パネルディスカッションの事前調整会議 コーディネーター・パネラーを囲み、リハーサル及び本番当日に向けての意見交換会を実施する。(主張内容の確認)</li> <li>☆11月27日(火)ブランドフォーラム&amp;パネルディスカッション運営について検討 テーマ「食と都市型観光のブランド戦略」～北谷はガザミで地域づくり～ 参加者数:231名 試食調査アンケート結果:98%がとても美味しいとの結果 パネルディスカッションのまとめとして「養殖及び脱皮のメカニズムなど研究開発課題である」 「ブランドとしてどう付加価値をつけるか」 「最終的にはちやたんのまちをブランド化」「地域資源研究開発などを活用」など次年度に向けての具体的課題が見出せた。 尚、12月8日(土)地元紙『琉球新報朝刊』一面に掲載予定! 12月10日(月)NHK 沖縄より生出演の予定(詳細は12月報告書で)</li> </ul>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>仮題⇒「ソフトシェルクラブ」の研究開発技術の確立</p>
16.	<b>伊江村商工会（シモン合鴨）</b>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市場調査及び品質と出荷条件に関する確認作業を引き続き行った。</li> <li>2. 商品の検討</li> <li>3. PR 戦術 PRの戦術は、実際にレストランにてメニューを企画して貰い、料理雑誌とのタイアップ企画を検討。抽選で来店しているお客様へ試食して貰い、アンケートも実施。観光客へは島内レストランにて、開発されたメニューを紹介し、定番メニューの開発を兼ねる。</li> </ol>

#### 4. 総括

(1)生産管理面

(2)市場調査結果からの考察

(3)検査及び品質証明